

社会科教員のための地理ワークショップ（開催案内）

「ヨーロッパ地誌をどう教えるか」

国土館大学地理・環境専攻では、今年度も7月27日（木）、28日（金）の二日間にわたり、社会科教員を対象として標記のワークショップを開催します。

記

1：テーマと趣旨

（テーマ）ヨーロッパ地誌をどう教えるか：ヨーロッパの基礎的理解に向けて

（趣旨）大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元する。

2：内容

- 1) そもそもヨーロッパとは何か？ ヨーロッパ地誌の総論
 - 2) ヨーロッパを旅してわかる意外な事実：ヨーロッパ人の考え方・日本文化との比較から
 - 3) ヨーロッパの地形に残る氷河期の影響
 - 4) 東ヨーロッパ諸国の再生：ハンガリーを中心として
 - 5) 大陸西岸気候とは？
 - 6) 「ハイジ」の世界の農業と観光：アルムの地域性とスイスの産業
- 注）担当者と時間配分は下記のスケジュールをご覧ください。

3：対象者

高校の「地理」担当教員、中学の「社会」担当教員など約20名程度。先着順で受け付けます。

4：開催日時

2006（平成18）年7月27日（木）～28日（金）の二日間。

午前10時～午後5時（昼休み：12:00～13:00）

5：場所

国土館大学世田谷キャンパス10号館階段教室（図参照）

6：担当者

文学部地理・環境専攻 長島弘道、野口泰生、内田順文、加藤幸治、長谷川裕彦（非常勤講師）

なお、大学院生をTA（ティーチング・アシスタント）として使います。

7：参加費（教材費などの実費）

2,000円（当日徴収）

8：ワークショッププログラム

この文書の最終ページをご覧ください。

9：資料：当日配布します。

10：申込み方法、締切

下記へメールまたはFaxで申し込んでください。

申込先：〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

国土館大学文学部地理学教室 野口 泰生

E-mail : noguchi@kokushikan.ac.jp

Fax: 03-5481-3328

<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri> もご覧ください。

締切：2006年7月15日

「ヨーロッパ地誌をどう教えるか」
第6回社会科教員のための地理ワークショップ プログラム

第一日目 2006年 7月27日(木)

時間	スケジュール	担当
09:30-10:00	受付	TA
10:00-10:20	開催の挨拶、趣旨とプログラムの説明	野口泰生
10:30-12:00	そもそもヨーロッパとは何か？	内田順文
昼食		
13:00-15:00	ヨーロッパを旅してわかる意外な事実	内田順文
休憩		
15:15-17:15	ヨーロッパの地形に残る氷河期の影響	長谷川裕彦
休憩		
17:30-19:00	懇親会(希望者による参加費制、5号館2F第一会議室)	磯谷達宏

第二日目 2006年 7月28日(金)

時間	スケジュール	担当
10:00-12:00	東ヨーロッパ諸国の再生	長島弘道
昼食		
13:00-14:30	大陸西岸気候とは	野口泰生
休憩		
14:45-16:45	「ハイジ」の世界の農業と観光	加藤幸治
16:45-17:00	終了にあたって	野口泰生
	希望者による懇親会	

参加申込書

(Eメールの場合は、必要事項のみ記入してお送りください。FAXの場合は本用紙を適宜コピーしてお送りください)。

社会科教員のための地理ワークショップ参加申込書
「ヨーロッパ地誌をどう教えるか」

氏名、生年 読みにくい漢字 にはふりがなを	19 年生
勤務先・担当科目	勤務先 担当科目
連絡先(〒、住所、電話、FAX、E-mailなど) 最終案内の送付先、緊急連絡先などをお書きください	
取り上げてほしいテーマなど、ご希望がありましたらお書きください(ご希望に添えない場合もございます)。	このワークショップの開催を何で知りましたか? 1: ホームページ 2: 地理学評論 3: 雑誌 地理 4: 雑誌 地理教育 5: クチコミ 6: ダイレクトメール 7: その他

送り先: 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1 国士館大学文学部地理学教室 野口 泰生
FAX 03-5481-3328 、E-mail: noguchi@kokushikan.ac.jp

<世田谷キャンパスの場所は、下記をご参照ください>

http://www.kokushikan.ac.jp/campus_map/setagaya.html